



5月は年中さんになって初めて遠足がありました。朝早くからのお弁当の準備や9時まで登園のご協力ありがとうございました！みんなで電車に乗る、というドキドキワクワクの機会となりました。また秋の遠足でもよろしくお祈りします。

最近のきりん組の子ども達は時と場合、場所を考えて声の大きさを変えることを意識して過ごしています。ですが言葉だけでは伝わりづらいことでもありますね。そんな声かけについて、今回は伝え方と比較についてお話いたします。



どんな伝え方がわかりやすい？

子ども達は2.3歳頃から視覚、聴覚、触覚などの情報処理に得意不得意が出始めると言われています。4.5歳頃となると理屈で納得する子が出始め、「廊下は静かにしなきゃいけない」という当たり前とされている伝え方よりも「らいおん組がお集まりしてるから廊下は小さい声にする」の方が伝わりやすいです。

しかし「小さい声ってどのくらい？」となります。そこで**比較**を使います。はじめは“ねずみの大きさ”“ぞうの大きさ”などの動物の大きさで表し、数字の大小が理解できるようになってきたら“1の大きさ”“3の大きさ”と伝えています。最近では数字で伝える事も増えてきており、日頃から1～3の数字で実際に声に出して比較することで大小を確かめています。給食時のごはんの量も「1、少なめ」「2、普通」「3、多め」と提示して選んでもらっています。このやり取りで自分で食べられる量を考え、自己決定の機会を作っています。また、わらべ歌遊びの時にも声の大小を変えて楽しむことがあります。手をいっぱいに広げるなどして視覚的に大きさを確認し声の大小を変えています。

伝え方ひとつで急に入りやすくなることがあります。普段言っていることがあまり伝わってないな、と思うことがあれば色々な方法を試して、子どもの反応の楽しんでみてください！



面談について

きりん組は6月中旬から7月中旬にかけて面談期間といたします。普段の園の様子やご家庭での困り事、ご相談等どんな内容でもお待ちしております！連絡表横に面談希望表を設けますので、是非ご都合つけてお書きください。

